



完成した伊豆の国市衛生センターきよら江間

清らかさをイメージして命名

3月12日 新し尿処理場落成式

令和元年12月から南江間で行っていた新し尿処理場の建設工事が、令和4年3月に完成しました。愛称は、伊豆の国市衛生センター「きよら江間」に決定し、3月12日に落成式が開催されました。落成式のなかで、愛称を考案した工藤孝子さんへの表彰が行われ、工藤さんは、「し尿処理場できれいに処理された水から清らかさをイメージし、この愛称を応募した。採用されてとてもうれしい。」と喜びを語りました。

特産物の記念品の贈呈に笑顔

3月17日 大河ドラマ館に入場者数3万人

今年1月にオープンした「鎌倉殿の13人 伊豆の国 大河ドラマ館」の入場者数が、3月17日に3万人を達成しました。この日は、3万人目の来場者となった平島さんご夫妻(藤枝市在住)に、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」伊豆の国市推進協議会から、記念品が贈られました。旅行で伊豆を訪れたという平島さんは、「めぐりあわせにびっくりした。」と話し、笑顔で記念品を受け取っていました。



記念撮影する平島さんご夫妻



市長にフレーム切手を紹介する土屋氏

義時のふるさとがフレーム切手に！

3月23日 「鎌倉殿の13人」フレーム切手販売開始

日本郵便(株)東海支社と南関東支社が共同で製作した、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」フレーム切手の販売が市内郵便局などで開始されました。切手には、「北條寺」や守山展望台からの眺望など、北条義時ゆかりの地やドラマ内の名場面が選ばれています。

販売開始に伴い、日本郵便(株)伊豆地域統括局長の土屋氏が市役所を訪れ、市長にフレーム切手を贈呈しました。

朗読と切り絵で観客を魅了

3月26日 大塚良重さんによる朗読の夕べを開催

いずのくに大使の大塚良重さんによる朗読の夕べ「八重姫哀歌」を葦山時代劇場で開催しました。八重姫と源頼朝2人の物語を、いずのくに大使の大塚良重さんの朗読と紙切り作家の水口千令さんの切り絵のコラボレーションでお届けしました。朗読終了後には、大塚さん、水口さん、市の学芸員が物語のこぼれ話を会話形式で行いました。会場には多くの観客が集まり、大塚さんの叙情豊かな朗読に聞き入っていました。



大塚良重さん(左)と水口千令さん(右)



多くの人でにぎわう会場

手作りであたたかいイベントを

3月5日 手作りマーケット Vol.4 が開催

早春の暖かな天気の中、手作りマーケット Vol.4 が、葦山反射炉ガイダンスセンター前芝生広場で開催されました。このイベントは、観光まちづくりに取り組む「ひとつなぎ伊豆の国。」が主催し、昨年11月以来、4回目の実施となりました。手作り雑貨の販売や、ワークショップなど32店をフリーマーケット形式で出店。キッチンカーによる販売も行われ、家族連れなど約700人が、思い思いにイベントを楽しんでいました。

葦山反射炉史跡指定 100年

3月8日 100周年オリジナルグッズ配付

1922(大正11)年に国の史跡指定を受けた葦山反射炉が、今年史跡指定100年を迎えたことを記念し、来場者先着100人にオリジナルグッズを配布しました。当日は、開館前から多くの人が並び、反射炉の開館を待っていました。この日にあわせ、葦山反射炉ガイダンスセンターの一部展示替えを行い、多目的室では、企画展「葦山反射炉史跡指定100年」を4月19日まで実施しました。



当日は多くの人が訪れました



商品化するパンを手笑顔で記念撮影

受賞作品がふるさと納税に登場

3月11日 商品化された作品がお披露目

パン祖のパン祭で行われた「全国高校生パンコンテスト」で、最優秀賞・優秀賞を受賞した5作品が、市内でベーカリーを営む杉山さん監修のもと商品化され、ふるさと納税の返礼品となりました。

最優秀賞を受賞した安江さん(田方農業高校)は「試行錯誤を重ねて自慢のシュトーレンを作ることができた。多くの人の手に取ってもらえるようになって嬉しい。」と笑顔で喜びを語りました。

子どもたちの安全を守る

3月11日 小学1年生に入学記念品贈呈

令和4年度の市内小学1年生を対象に、交通安全協会大仁地区支部から入学祝い品が贈呈されました。同協会の豊田昌幸大仁支部長は、「登下校の際に役立てていただければ」とあいさつし、増田教育長に交通安全自由帳とマグネット式反射材を手渡しました。

増田教育長は「毎年ありがとうございます。安全な登下校ができるように各学校に指導していきます。」とお礼の言葉を述べました。



入学祝い品を贈呈する豊田支部長(中央)